



国際ロータリー第2800地区

会長 加藤 功
幹事 富樫 松夫

超私の奉仕

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30
例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡
事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

第2316回 例会会報 平成18年5月30日(火) 晴(本年度 第40回)

会長報告

加藤 功

ロータリー・クラブは、多くの教育プロジェクトを持っています。奉仕の理想を次世代に担ってもらうために、新世代に関する事業活動は、ますます重要になってきました。とくに、少子高齢化社会の時代になっています。それに対応した教育のあり方が緊急な課題です。

最近、教育基本法の改正が国会で審議されています。私自身も、これまでに教育研究者として職務を担ってきた者として強い関心を持っています。さらに日本の将来を見据え、それを建設し担いうる人間を育てるためには、どうあるべきか、戦争の反省を含めて論議される問題であるとおもいます。

教育基本法の全文では、日本国憲法との関連や制定の経緯として、日本国憲法に示された理想の実現は、基本的に教育の力によること、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成に期することなどが述べられている。

本則は全部で11条からなり、実体を定めた第1条から第10条と、他の法令との関係を定めた第11条にわけられる。教育基本法では、教育の目的は、「人格の完成」とされている。その他に、教育の方針、教育の機会均等、義務教育(内容と年数、授業料の不徴収)、男女共学、学校教育、政治教育、宗教教育、教育行政などについての定めがある。

教育基本法には道德教育に関する規定はなく、現在、それは学習指導要領に提示されている。それによって拘束されると見られている。第二次世界大戦前の教育勅語には「親への孝行」「忠君愛国」などの道德的な項目がある。しかし、教育勅語は法令としての性格を持たず道德的な記述であることに対して、教育基本法は法令として教育制度の根幹を定めている。また両者は厳密には接続していない。

政府提案の改正案は、前文と18条で構成されて

いる。前文では、現行法の「(憲法の)理想の実現は、根本において教育の力にまつ」とした部分を削り、「公共の精神」、「伝統を継承し」などを新たに盛り込んでいる。また、「教育の目標」を五つに分けて、「我が国と郷土を愛する…態度を養う」などと「教育振興基本計画」対応する雑多な内容が「理念」や「徳目」の形式で挿入し数多くの徳目を列挙している。これらは教育行政(「教育振興基本計画」)に反映される。権威主義との妥協か。主な論点としては、教育の機会均等(能力、新自由主義の観点濃厚・新たな競争と差別の教育)、義務教育(授業料)、政治教育(政治的中立)、教育行政(教育振興基本計画)などが挙げられる。なお、改正論議については、政府与党、中央教育審議会、関連する学会で種々の論点が指摘されている(内容省略)。なおまた、新聞論調(社説)でもとりあげられている。「教育基本法の改正がなぜいま必要なのか」。政府の改正の提案理由にあげられている事項は、改正することによって決して現在の教育をめぐる状況を改善することに繋がらない。学校、地域社会に対する不信感が子どもや若者の「居場所」を失う可能性がある。「心の管理の教育」の批判的検討の必要がある。国民のため「個性の尊重」「平和主義」「民主主義」から国家戦略のための基本法への転換であるなどとする疑問点に答える必要がある。いずれにせよ、国会で国民的理解を得られるように実態を踏まえた丁寧な審議が不可欠とし、急ぐ必要はないとする主張が圧倒的である。

註：渡辺治は、著書『いまなぜ教育基本法改正か？』(2002年)の中で、教育基本法「見直し」は「教育改革国民会議」の「新自由主義派」と「権威主義派」から始まったと指摘する。すなわち、新自由主義派とは、現在の教育体制では「エリートも先端技術の開発能力も育だない」ことを不満とし、「教育の格差化の一層スピードを上げて実施し徹底する」ことを主張する。一方の権威主義派とは、しつけや道德教育の徹底、奉仕活動の導入などによって、いじめ



みんなで止めよう温暖化

アイドリングストップ!!

や不登校といった「教育荒廃」の解決をはかるべきとする人々の主張を意味する。その主流派は新自由主義派である。

先日5月23日、孟宗汁例会において、東京東江戸川RCをお招きいたしました。その際、お土産を頂きました。本日お配りしております。

さて5月28日(日)には、グランド・エルサンにおいて鶴岡西RC40周年記念式典に鶴岡RCから11名参加しました。大変有難うございました。鶴岡RCは鶴岡西RCのスポンサー(ホスト)になっており、小花盛雄初代会長が特別代表になっています。鶴岡西RCのこれまでの数々の奉仕活動の実績には素晴らしいものがありました。これからはスポンサーの関係もさることながら、ロータリアンとして絆を強め、共に奉仕活動事業に邁進していきたいものと新しい誓いをする機会のおもってきた次第であります。

会員スピーチ

西川 富美子



私は旭川生まれです。旭山動物園について紹介したいと思います。

日本最北の小さな動物園で、昨年の入場者数が122万人を突破。7・8月は東京の上野動物園を上回り、日本一になった。

この旭山動物園も全国の動物園同様、入場者が減少傾向にあった。レジャーは多様化しており、娯楽が少なかった一昔前と比べれば選択肢は沢山ある。そもそも旭山動物園には特に珍しい動物はまったくない。今いる動物でお客様に來場してもらうにはどうしたらよいか職員達は必死に考えた。

飼育係は動物と毎日接していて、「この動物はこんなことまでやるのか、こんな姿もあるのか」と、びっくりしたり、感動したりすることがあるという。そこで、そんな動きを入園者に見せたら、きっとびっくりしたり感動したりするにちがいないと考えた。

園長は「旭山動物園の基本は動物が退屈しないよう工夫する『エンリッチメント』と動物の特徴的な行動を見せる『行動展示』である」という。

動物達が本来持っている能力を無理やりではなく、自然に発揮できるように「見せ方」の工夫をしたところに旭山動物園成功の秘訣があった。お金を出せば有益なアドバイスをしてくれるマーケティングの専門家や経営コンサルタントがいたかもしれないが、そのような余裕はなく、自分達の頭で解決策を考えたのである。

「時代がよくない」「人がいない」「お金がない」

と嘆いていても前向きの解決策は出てこない。普通の人でも必死に活路を考えればアイデアは出てくるということを、この旭山動物園の例は物語っている。

なぜうまくいったかという「なぜ」を活かして、どうしたらよいかという具体的な解決策は自分達で考えないといけないと感じました。

委員会報告

●出席委員会

委員長 阿蘇 司朗

5月16日分

本日の出席		前々回の出席	
会員数	46人	出席率	72.72%
出席数	30人	修正出席数	33人
出席率	65.22%	確定出席率	75.00%

●メイクアップされた方 藤川享胤君

5月23日分(孟宗汁例会)

本日の出席		前々回の出席	
会員数	46人	出席率	63.64%
出席数	19人	修正出席数	30人
出席率	43.18%	確定出席率	68.18%

●メイクアップされた方

藤川享胤君・樋渡美智子君

●ビジター 東江戸川RC 7名

5月30日分

本日の出席		前々回の出席	
会員数	46人	出席率	65.22%
出席数	21人	修正出席数	33人
出席率	47.73%	確定出席率	75.00%

●メイクアップされた方

後藤順一君・秦 幸助君・丸山隆志君・富樫松夫君
富田喜美子君・塚原初男君・若生恒吉君

スマイル

藤川享胤君 ○今日はIA連絡協議会出席の為欠席致します。○佐藤千秋さん3ヶ月間おつかれ様でした。これからはがんばって下さい。

樋渡美智子君 ○昨日のプログラム会報委員会ご苦労様でした。久しぶりに情報やら歴史を聞く機会となりました。○佐藤さん、素敵な笑顔での仕事、ありがとうございました。○西川さん、営業の厳しさを思っていますが…。

松浦 寛君 ○台中港区扶輪社訪問の際は弊社をご利用いただき有難うございました。○佐藤さん、3ヶ月間事務局ご苦労さまでした。

上野欣一君 5/23湯田川の甚内旅館において孟宗汁例会を“楽しくおいしく”開催されました。大塚ご夫妻はじめ会員の皆様に感謝致します。